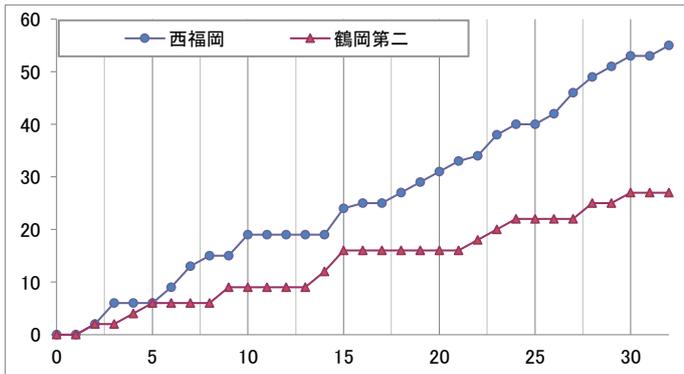




大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会																		
会場	トリムパークかなづ																		
日時	2016年8月23日(火) 10:50																		
コート	TAコート 第2試合																		
カテゴリー	男子選Gリーグ第1試合																		
主審	高嶋憲彰																		
副審	山本一栄																		
TEAM A	TEAM B																		
西福岡 (福岡)	55 ○	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>6</td></tr> <tr><td>10</td><td>2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>15</td><td>3rd</td><td>6</td></tr> <tr><td>15</td><td>4th</td><td>5</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	15	1st	6	10	2nd	10	15	3rd	6	15	4th	5	-	-	-	27 ●	鶴岡第二 (山形)
15	1st	6																	
10	2nd	10																	
15	3rd	6																	
15	4th	5																	
-	-	-																	

得点経過



BOXスコア

TEAM A		西福岡						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	岡 龍之介	/	0	0	0	0	0	
5	松村 竜吾	×	14	0	7	0	4	
6	松脇 匡秀	/	2	0	1	0	0	
7	松本 宗志	×	0	0	0	0	1	
8	石井 大翔	DNF	0	0	0	0	0	
9	山田 楓	/	0	0	0	0	0	
10	原田 大和	×	13	1	5	0	0	
11	河合 志道	/	0	0	0	0	0	
12	平松 克樹	/	4	0	1	2	1	
13	松田 士弦	DNF	0	0	0	0	0	
14	小川 麻斗 (CAP)	×	16	2	4	2	0	
15	荒木 泰心	/	0	0	0	0	0	
16	ニブラス アシフ	DNF	0	0	0	0	0	
17	水本 来	DNF	0	0	0	0	0	
18	片岡 楓瑛	×	6	0	3	0	2	
コーチ	鶴我 隆博							
合計			55	3	21	4	8	

TEAM B		鶴岡第二						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	加藤 春樹 (CAP)	×	6	0	3	0	1	
5	齋藤 周瑛	×	9	0	3	3	2	
6	高田 星	×	2	0	1	0	0	
7	加賀山 陸	×	8	2	0	2	1	
8	松浦 享佑	×	0	0	0	0	1	
9	牧 和敬	/	0	0	0	0	0	
10	佐藤 雅大	/	2	0	1	0	0	
11	高木 雄飛	/	0	0	0	0	0	
12	三浦 颯人	/	0	0	0	0	0	
13	坂尾 飛翔	/	0	0	0	0	0	
14	伊藤 真央	/	0	0	0	0	0	
15	今井 弘己	DNF	0	0	0	0	0	
16	榎本 唯人	DNF	0	0	0	0	0	
17	安田 拳心	DNF	0	0	0	0	0	
18	齋藤 亮馬	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	佐藤 真悟							
合計			27	2	8	5	5	

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

九州ブロック代表西福岡と東北ブロック代表鶴岡第二の一戦。1Q両チームハーフコートマンツーマンDefでスタート。開始2分間両チーム無得点。鶴岡第二#4のバックダブプレーで得点が動き出す。西福岡は#5の連続リバウンドシュート、#14のペネトレイトで3連続得点。鶴岡第二#5、#4のシュートで6対6の同点。しかし、西福岡の堅いDefから3連続得点、14対6となり鶴岡第二がタイムアウト。西福岡の勢いは止まらず、15対6で1Q終了。2Q鶴岡第二#7の3Pでスタート。15対9とする。ここから西福岡#5のリバウンドシュート、#12のフリースローで得点し、19対9。鶴岡第二がタイムアウト。その後両チーム激しいDefが続く。鶴岡第二#5の連続シュートで点差を詰めるも、西福岡#14の3P、#5のリバウンドシュートで追撃を許さない。25対16、西福岡リードで前半終了。3Q西福岡のDefはさらに厳しくなる。さらに西福岡#18の速攻、#10、#14の得点で一気につきはなす。33対16となったところで、鶴岡第二タイムアウト。しかし、西福岡の速い攻めは止まらない。鶴岡第二も#5、#4、#8が攻めるがリングに嫌われななか得点できない。その間、西福岡がリードを広げ、40対22で3Q終了。4Qも西福岡#14、#10の1対1で4連続得点。鶴岡第二も#4の3Pで得点するも、その後が続かず、55対27で西福岡が勝利した。